

創業計画書 【記入例】

〔令和〇年〇月〇日作成〕

お名前 ○○○○

1 創業の動機（創業されるのは、どのような目的、動機からですか。）

・これまで複数の店舗で経験を積む中で、次第に自分の店を持ちたいと思うようになっていたところ、現勤務先で店長を経験し、店舗の運営に自信がいたため。
 ・昔から馴染みのある〇〇地区で物件を探していたところ、好立地の空きテナントが見つかったことに加えて、現勤務先の仕入業者から、豊富なお酒を安価に仕入れることができるようになったため。

2 経営者の略歴等（略歴については、勤務先名だけではなく、担当業務や役職、身につけた技能等についても記載してください。）

年月	内容
H〇年〇月～	〇〇大学卒業（調理師免許取得）
H〇年〇月～	居酒屋〇〇〇〇3年勤務（学生時代のアルバイト先に、そのまま就職）、ホール兼調理を担当
H〇年〇月～	ダイニングキッチン〇〇（洋風居酒屋チェーン）9年勤務、ホール兼調理を担当 3年前から店長（現在の月給30万円）
R〇年〇月	退職予定（退職金70万円）

過去の経験
 事業を運営していたことはない。
 事業を運営していたことがあり、現在もその事業を続けている。（事業内容： ）
 事業を運営していたことがあるが、既にその事業をやめている。（やめた時期： 年 月）

取得資格
 特になし 有（調理師免許（H〇年〇月取得） 番号等 ）

知的財産権等
 特になし 有（ 申請中 登録済 ）

3 取扱商品・サービス

事業内容
 ・〇〇地区周辺の会社員をターゲットに、様々なお酒と旬の素材を使用した創作料理を提供する。
 ・隠れ家的な雰囲気のお店構えとして、寛げる空間を提供する。

取扱商品・サービス内容
 ① 昼 日替わりランチ（4種類/ドリンク・デザート付）（売上シェア 20%）
 ② 夜 一品料理 550円～1,200円（売上シェア 80%）
 ③ ドリンク 500円～1,200円（売上シェア %）

客単価（飲食・小売等） 昼900円 夜450円 受注（販売）単価（建設・製造等） 万円 ～ 万円

営業日数（月）（飲食・小売等） 26日 定休日（飲食・小売等） 日曜日 営業時間（飲食・小売等） 11:00 ～ 23:00

セールスポイント
 ・ワイン、ビール、オリジナルカクテル等200種類のドリンクを提供する。
 ・地元の食材を使用した地産地消にこだわり、高品質な料理をリーズナブルに提供する。
 ・月1回、友人の協力でアコースティックギターの生演奏会を予定している。
 ・30～40代の〇〇地区周辺の会社員がメインターゲット。

販売ターゲット・販売戦略
 ・創業当初は、駅前でのチラシ配りやポスティングにより、新規顧客の獲得を図る。
 ・写真映える創作料理をInstagramなどのSNSに投稿し、認知度向上を図る。
 ・商業ビルが立ち並ぶ路地裏の立地。周辺にセレクトショップ等があり、人通りが多い。
 ・居酒屋などは多いが、落ち着いた雰囲気の店舗は少ない。
 ・出店予定地の近くに新たに商業ビルが建設予定であり、ランチや飲み会需要の増加が期待できる。

4 従業員

常勤役員の人数（法人の方のみ） 人 従業員数 4人（うち家族従業員） 1人（3ヵ月以上継続雇用者※） 2人（うちパート従業員）

※ 創業に際して、3ヵ月以上継続雇用を予定している従業員数を記入してください。

5 取引先・取引関係等

フリガナ	所在地等（市区町村）	取引先のシェア	掛取引の割合	うち手形割合 手形のサイト	回収・支払の条件
取引先名					
一般個人（現金）		70%	%	%	即日 日
一般個人（クレジット・電子マネー）		30%	100%	%	末日 翌月20日 日
	ほか 社	%	%	%	日 日
△△サケテン（方） △△△△△△△△（株）（現勤務先の仕入先）	〇〇区〇〇	50%	100%	%	末日 翌月末 日
方）××××××（株） （株）××食品（現勤務先の仕入先）	〇〇区〇〇	50%	100%	%	末日 翌月末 日
	ほか 社	%	%	%	日 日
					日 日
					日 日
人件費の支払					末日 翌月末 日（ボーナスの支給月） 月、 月）

・販売先・仕入先との結びつきがあれば記入してください。
 ・販売・仕入条件について確認しておく必要があります。

☆ この書類は、ご面談にかかる時間を短縮するために利用させていただきます。
 なお、本書類は**お返しできませんので、あらかじめご了承ください。**
 ☆ お手数ですが、可能な範囲でご記入いただき、借入申込書に添えてご提出ください。
 ☆ この書類に代えて、お客さまご自身が作成された計画書をご提出いただいても結構です。

6 関連企業（お申込人もしくは法人代表者または配偶者の方がご経営されている企業がある場合にご記入ください。）

関連企業①	企業名	代表者名	所在地	業種	関連企業②	企業名	代表者名	所在地	業種

7 お借入の状況（法人の場合、代表者の方のお借入）

お借入先名	お使いみち	お借入残高	年間返済額
◎◎銀行△△支店	<input type="checkbox"/> 事業 <input type="checkbox"/> 住宅 <input checked="" type="checkbox"/> 車 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> カード <input type="checkbox"/> その他	76万円	24万円
	<input type="checkbox"/> 事業 <input type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 車 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> カード <input type="checkbox"/> その他	万円	万円
	<input type="checkbox"/> 事業 <input type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 車 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> カード <input type="checkbox"/> その他	万円	万円

8 必要な資金と調達方法

必要な資金	見積先	金額	調達の方法	金額
店舗、工場、機械、車両など（内訳） ・店舗内外装工事 ・厨房機器 ・什器・備品類 ・保証金	〇〇社 〇×社 △△社	970万円 500 200 150 120	自己資金 親、兄弟、知人、友人等からの借入（内訳・返済方法） 父 元金2万円×100回（無利息） 日本政策金融公庫国民生活事業からの借入 元金10万円×70回（年〇.〇%） 他の金融機関等からの借入（内訳・返済方法）	360万円 200 200 700 万円
商品仕入、経費支払資金など（内訳） ・仕入 ・広告費等諸経費支払 ・家賃等		290万円 90 140 60	金額は一致します。	
合計		1,260万円	合計	1,260万円

・見積書などを添付してください。
 ・すでに支払済みの場合は領収書・請求書などを添付してください。

9 事業の見通し（月平均）

	創業当初	1年後又は軌道に乗った後（〇年〇月頃）	売上高、売上原価（仕入高）、経費を計算された根拠をご記入ください。
売上高①	248万円	322万円	<創業当初> 人件費は従業員数もわかるように記入してください。 ①売上高（日曜定休） 昼（月～土） 900円×25席×0.8回転×26日 = 46万円 夜（月～木） 4,500円×25席×0.6回転×18日 = 121万円 （金、土） 4,500円×25席×0.9回転×8日 = 81万円
売上原価②（仕入高）	87万円	113万円	②原価率 35%（勤務時の経験から） ③人件費 従業員1人20万円 専従者1人（妻）10万円 アルバイト2人 時給1,300円×12時間/日×26日 = 40万円 支払利息 700万円×年〇.〇%÷12ヵ月 = 〇.〇万円 その他光熱費、広告宣伝費等 50万円
人件費	70万円	88万円	<創業1年後（軌道に乗った後）> ①創業当初の1.3倍（勤務時の経験から） ②当初の原価率を採用 ③人件費 従業員1人増 18万円増 その他諸経費 10万円増
家賃	20万円	20万円	
支払利息	2万円	2万円	
その他	50万円	60万円	
合計③	142万円	170万円	
利益① - ② - ③	19万円	39万円	・所得税等の税金や借入金の返済元金はここから支払われます。 ・個人営業の場合、事業主分の人件費はここに含まれます。

創業計画書の作成にあたっては、支店等の予約相談や、創業計画書セルフチェックリストもご利用ください。

ご相談の予約はこちら

創業計画書セルフチェックリストはこちら